

掛合町掛合地区 市道の安全対策について

Q389

現在、小学校には校庭がないので、児童は体育の時間に新小学校から旧小学校へ移動するために市道佐中穴見谷線を横切って移動している。掛合分校があるせいで、新小学校には校庭がなく、子どもたちがかわいそうだと思う。掛合小学校の児童が楽しく校庭で遊べるようにしてもらいたい。

A：市道佐中穴見谷線に横断歩道を設置する予定です。登校路にあった危険物置き場も場所を変えさせてもらい、カーブミラーも設置しました。できる範囲で安全確保に努めていますのでご理解いただきたい。(掛合総合C)

掛合町掛合地区 冬季における掛合小学校通学路の安全対策について

Q390

登校路は坂道のため、積雪時の児童の転倒防止対策はどのように考えているか。
また、登校路に設置されている横断歩道やカーブミラーは雪があれば十分機能を果たせない。

A：掛合高等学校線を早期に拡張するように、現在つめの交渉を行っています。幅員が拡張すれば除雪車が入ることも可能となります。
転倒防止対策については、凍結防止剤などが効果的だと考えていますので、除雪の中で対応します。(建設部)

掛合町松笠地区 掛合小学校登校路整備について

Q391

掛合小学校の登校路について、市議会議員の話では予算化されているということで、喜んでいるが、完成時期はいつか。

A：登校路について、測量、設計が終わり、総合センターと協議しながら進めています。できるだけ早い時期に発注し、できる限り夏休み中に完成させたいと考えています。(建設部)

掛合町松笠地区 松笠公民館前交差点の信号機設置について

Q392

市に言うのはおかしいかもしれないが、松笠は掛合湖稜線、広域農道と縦横に良い道路がついていて、便利がよい。しかし、反面交通量が多くなっており、スピードを出す車が多くなっている。特に松笠公民館前の交差点に向って、妙泉寺方向からすごいスピードを出してくる車があり、信号があることを知らない車が急ブレーキを踏むなど大変危険である。市の方で安全を考えてもらいたい。交通安全委員会にも要望しているが交差点前の点滅信号を設置してもらいたい。

A：信号等は県公安委員会との関係があるので、要望をまとめてもらえば、関係部局と協議して、市からも県に要望します。(総務部)

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

三刀屋町一宮地区 一般道等における高齢者の運転について

Q393

国道など一般道路で、高齢者が運転する車がノロノロ運転で走行しておられ、追い越し車線もなく、困っている。ゆずりあいの心を指導して、働きかけをしてほしい。

A：基本的に免許をお持ちで公道を運転される方に指導や規制をすることは困難だと考えます。高齢化が進んでいますが、車がないと不便で、高齢者ドライバーも増えています。地域の組織や老人会などで勉強会や話し合いなどをしていただいたりして、ご理解をいただきながら説明していくなどしか対応がないかと思えます。警察などにも相談しながら交通安全教室などで対応するようになります。（総務部）

木次町八日市地区 県道安来木次線、木次神社前JR踏切に歩道設置について

Q394

県道安来木次線、木次神社前、JR踏切に歩道設置を望む。

A：平成19年12月20日に陳情活動がなされ、雲南県土整備事務所としても早急な対応が必要であることから、鳥根県の平成20年度交通安全事業の新規要望箇所に、当木次神社前の踏み切り改良を新規採択要求されたところです。

具体的なスケジュールとしては、今年度JR西日本米子支社（西日本旅客鉄道株式会社）と歩道の新設について協議を開始し、21年度に調査設計、予算要求、22年度に着工することが最短での施行となります。雲南市管内では、今年度は掛合大東線西日登地内、苗手下踏切幅が予定されており、21年度には、出雲大東線大東下分地内、オの神踏切幅が計画されています。

したがって順調にいきましても、平成22年度以降での事業化となります。

本年度、JR西日本との協議を詰める予定としていますが、JR西日本が保留している踏切改良件数によっては、少し時間がかかることもあるかも知れませんが、雲南市としましては、早期に歩道が設置されるよう要望していく考えであります。

協議内容につきましては、地元へ状況報告としてお知らせしたいと思います。（建設部）

A：踏み切りへの歩道設置については、JRの判断に委ねざるをえないのが実態です。これからもJRが早急に工事に取り掛かって頂けるよう積極的に働き掛けていきたいと考えています。（市長）

木次町斐伊地区 歩行者用歩道設置について

Q395

国道54号線の交通量の増加に伴い、以前にも交通事故「死亡事故、車両接触事故」等再三起きている現状の中、平成15年より再三地域からの要望事項としている。本件について本腰で検討善処してもらいたい。

A：当要望箇所から約600m広島側に「斐伊横断歩道橋」もあることから、当要望箇所交差点の横断状況及び斐伊横断歩道橋の利用実態などの状況を勘案しながら、公安委員会（雲南警察署）の意見も聞きながら、引き続き検討すると伺っております。

雲南市としても、沿線住民の方々の安全な横断や利便が図れるように継続的に要望していきます。（建設部）

A：地下道の設置について ピーク時に1時間あたり100人が必要とのことですが、とても現在の状況で渡れるはずがないのでそうした数字があるはずありません。地域の実情を国土交通省にお話し、引き続き実現に向けて働きかけていきたいと思えます。（市長）

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

木次町新市地区 木次保育所及び木次幼稚園付近の安全対策について

Q396

木次保育所及び幼稚園付近の新市中央線への歩道の設置及び拡幅を望む。

A：市道新市中央線は、現在改良中であり、これに係る横断歩道は道路改良にあわせ設置を行います。新規の横断歩道設置については、公安委員会と協議を行います。（建設部）

A：歩道設置については、市としても公安委員会に働きかけます。（市長）

Q397:[関連質疑]

事故があっては遅い。幼稚園の先生方の管理責任も問われる。早急な設置をお願いしたい。

A：承知しています。歩道設置に努力します。（市長）

大東町大東地区 都市計画道路赤川右岸線(通学路整備)について

Q398

都市計画道路の説明会で赤川右岸線に歩道をつけるという説明を聞いたが、赤川右岸線は大東小学校、大東高校の通学路で幅員も狭く歩道もない。通学路を優先に歩道の整備をしていただきたい。

A：現在、都市計画道路の見直しを行っています。赤川右岸線は継続路線で都市計画設定をしていますが、すぐに整備が実施できるわけではありません。利用状況や緊急性を考慮して全体を通して道路の整備を進めます。（建設部）

A：道路の問題は、ご指摘のとおり、安全に通学通勤できる道路は都会に比べて恵まれていない状況にあります。安心して生活できる環境づくりのためにも道路整備を進めていかなければなりません。かなりの事業費がかかります。道路事業は、これまでの特定財源から一般財源に代わり非常に厳しい状況にあります。財源確保に努め、危険な道路解消に努めていきたいと考えます。（市長）